

対面形式
&
WEB配信

久留米大学 バイオ統計センター 公開セミナー

三角俊裕

(国立がん研究センター東病院
データサイエンス部・部長)



「臨床試験統合データベース ARCADアジアと利活用」

ARCADアジアは、アジア圏で行われた治験・臨床試験の個別被験者データ (Individual Patient data; IPD) を収集・統合し、さらに日本、欧州、米国の3極で同じ統合データベースを共有するデータシェアリング事業である。大腸癌領域において、現在までにアジア圏13試験4,173例のIPDからなるARCAD-Asian DBを米国Mayo Clinicに転送し、グローバル全体として63試験45,224例のARCAD-Global DBが各極に設置されたデータセンターで同時保有している。構築したデータベースの利活用として様々な研究が進んでおり、過去の臨床試験データをプラセボ投与の代替とし新薬の承認を目指すNo Placebo Initiativeの取り組み、リアルワールドデータから承認申請に資するリアルワールドエビデンスを作成する可能性を検討するREALISE研究なども紹介する。

2024年

10月24日 木 18:00-19:30

久留米大学バイオ統計センター【PC室】 久留米市旭町67番地医学部B棟

【申込方法】

下記URLまたはQRコードより、前日10:00までにお申し込みください。

<https://biostat-kurume.stores.jp/>



お問い合わせ

久留米大学バイオ統計センター公開セミナー係

✉ biostat_seminar@kurume-u.ac.jp